

読者プレゼント

抽選
5人

トマトジュース 尾瀬の朝露

1本1,000ml
(1,200円相当)



ぬまたブランド
農産物認証者

いのもと園 —利根町園原—

代表 新井 英伺さん (写真右)

地域に愛されるトマト目指して

応募方法 はがき、または市HP応募フォームに住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙の感想や要望を書いて応募。プレゼントは市役所で受け取り
締切 6月24日(金)必着
宛先・問合せ
〒378-8501 沼田市下之町888
秘書課広報広聴係 ☎内線4008



・市内主要販売所
※時期によっては取り扱い無し
・JA農産物直売所 食彩の森
・JA農産物直売所 (街なか天狗プラザ内)
・南郷市場(しゃくなげの湯地内)
・井土上町農産加工物直売所

自然豊かな園原でトマト栽培を行う新井英伺さんたち。3年かけて作った堆肥を使い、こまめに手入れをして栽培したトマトは、濃厚で甘味と酸味のバランスが良いと評判だ。そのトマトを使ったジュースは水も食塩も一切加えず約30分ゆっくり火を通すため、生のトマトをかじったような新鮮さに驚く人が多い。「周りの皆さんのおかげで今がある。今後も一生懸命学んで利根沼田の皆さんに一番に愛されるトマトを作りたい」と新井さんは熱意を語った。



簡単☆とまとの炊き込みご飯

旬のトマトを丸ごと1個使用して野菜不足解消



クックパッドでレシピ公開中

沼田市クックパッド 検索

地域おこし協力隊 だより No.20 高津 修

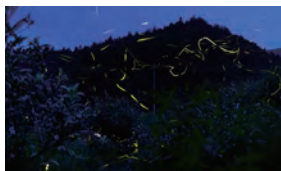
尾瀬高と棚田を調査中



薄根地域ふるさと創生推進協議会(山口耕会長)による棚田復活活動4年目、棚田オーナー様も24組になりました。「つなぐ棚田遺産」の認定を受け、ホテル再生事業は昨年延べ200人以上が鑑賞会に訪れ、順調に進んでいると感じます。非常に良い時期に地域おこし協力隊となり、充実した期間を過ごすことができました。任期は残り半年。今年度の棚田オーナー制度事業のメインの取り組み

が完了するまで在籍できるため大変ありがたいです。

昨年度からは尾瀬高校と連携して、石墨棚田周辺の植物や生物の生息調査を行い、子ども用の環境学習副読本の制作を進行中。先月は第2回目の調査として、同校の星野先生と生徒25人に石墨棚田の隅々まで調査していただきました。結果が大変楽しみです。



石墨棚田ホテル観賞会
6/20~7/5 頃開催



詳しくは
HPまで



石墨棚田の調査を行う尾瀬高校の生徒たち

問合せ 観光交流課交流推進係 ☎内線5031

チャレンジ 手話

梅雨

20

1



唇の下につけた右手3指のつまみをこめかみにつける

2



3



指を広げた両手を上から下へ2回下ろす

動画で練習しよう
応用編も収録

YouTube



問合せ 社会福祉課
障害福祉係 ☎内線3109